

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年11月12日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670101973
法人名	医療法人 明輝会
事業所名	グループホームよしの村
所在地	鹿児島市吉野町3822-1 (電話) 099-244-4412
自己評価作成日	平成30年9月30日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年10月25日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

あやめ棟の開設からちょうど19年が経ち、自治会や保育園等との良好な関係を維持してお互いに協力する姿勢で、事業を継続しています。

平成27年から、認知症サポーター養成講座を夏休み期間に開催して地域の子どもから高齢者まで参加できる機会を作ったり、運営推進会議の場で情報提供や健康教室を企画したりと、認知症の啓発や利用者が交流する機会を持てる取り組みにも努めています。

利用者の生活環境としては、まず職員が信頼され、安心できる関係を築くことが出来るよう、様々な研修機会に、接遇およびケアにおいて本人意思の尊重を意識することを念頭に日々職務・業務に臨んでいるかを話し合ったり振り返ったりしています。また、家族が各利用者の状態を情報共有しながらかわりを継続できるように、健康上の変化はこまめに報告するとともに、行事・外出の案内をして時間を共有できるよう図っています。

健康管理の面では、訪問看護、母体のクリニックと連携し、日々の状態を把握しておくことで、少しの変化にもスムーズに対応できる体制です。その延長で看取りにも取り組んでいます。法人全体で職員のキャリアアップ体制を構築しており、働きやすい環境から質の向上を目指したいと考えています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームは、高速インターから近く利便性の良い幹線道路沿いにあり、母体の医療機関近くにそれぞれの棟が独立して建てられており、庭を行き来しながら互いのユニットを訪問できるようなアットホームな雰囲気である。周囲は住宅に囲まれているものの、「よしの村」だけがのどかな住環境を醸し出して、昭和にタイムスリップした感があったどこか懐かしい外観が高齢者だけでなく訪れる人々に安心感を与えるような情景である。
- 地域の班の一員として、お互いに年間の行事や双方の情報を共有し相互に協力関係を築いている。避難訓練では、地域の方も積極的に参加され消火訓練など、特に熱心に取り組まれている。地域の運動会へのお誘いがあり参加したり、ソーメン流しを一緒に楽しんだり、町内会の日帰り旅行に参加される利用者もおられる。ホームの秋祭りには、町内会からボランティアの方も参加されたり、地域の方も来られ利用者との交流活動が盛んに実践されている。
- 理念は、地域交流を意識し絆を大切にしたいといったもので平成22年から認知症ケアに対し専門職としての意識向上を目指した理念になっている。職員は、それぞれ理念への取り組みについても自己評価し、管理者が単年度の目標の達成状況を把握して話し合い、中期目標に向けて職員全員で取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	“地域の中の事業所”を意識した理念が或る。それに基づいて毎年実践に繋がる目標を立て、取り組んでいる。	理念は、認知症ケアに対する専門職の意識向上、地域とのつながりや絆を大切にするというものであり、職員一人ひとりが毎年度自己評価し目標設定し実践につなげており、職員会議で振り返りの機会を設けて話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、お互いに年間の行事等情報共有して協力し合っている。日帰り旅行や町内運動会に参加し、班の方々とのふれあいの機会を持っている。	回覧版を活用し互いの情報を共有したり、地域の方が竹を切り出しホームでソーメン流しを楽しんだり、地域の運動会に参加している。また、秋祭りなどのホームの行事にも地域の方の参加が多く、中・高生などのボランティアの受入れを積極的に行い地域交流や貢献をしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	日々の実践の場を職場体験やボランティア体験に提供し、認知症がある方への理解促進に努めている。また、年1回認知症サポーター養成講座を開き地域の学校や住民に案内している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ヒヤリハット、事故の報告を含めて行事や生活の状況を伝えるように心掛けている。評価報告会などで出された第三者の意見を参考に目標立案している。	会議では、利用者の日々の暮らしぶりやインシデント、ヒヤリハット事例などを報告し、ホームの課題や悩み、相談などを随時行いながら、地域の方々に協力をいただけるよう提案したり、助言やアドバイスなどをもらいサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護を含めて、各担当に協力している。介護相談員の受け入れ依頼にも毎回応じている。	市担当者や福祉事務所職員などには、ホームの実情などを積極的に伝えながら、相互の協力関係を築いている。介護相談員の受入れを行い、市主催の研修会などにも勤務調整するなどして参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束予防・廃止委員会の定期的な開催と勉強会を行っている。指針を定めてその共通理解を図り、適切なケアによる身体拘束の回避に努めている。	身体拘束予防・廃止委員会を中心に全体での研修の実施、また、毎月各棟の委員会を中心に研修を実施するなど身体拘束に対する意識の高さが伺える。日々、職員自らが自身の言動を意識し振り返るような取り組みを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の観点でプライバシー保護や接遇の点検を行う機会を持ち、自己の言動を振り返ることを意識している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を活用している利用者も居り、関心が無くはない。高齢者虐待防止法における経済的虐待等と絡めて理解を促す。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者による契約の説明、解約時の相談対応を行っている。改定等は文書および家族会等で説明と同意の確認を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会等で表される家族の気持ちに耳を傾け、家族アンケートで自由記述される意見を少しでも吸い上げて反映したい。	年1回、全体の家族会の開催や各棟ごとの家族会での話し合い、家族向けのアンケートの実施結果を踏まえて、家族の意見に耳を傾けサービスの質の向上に繋がるよう取り組んでいる。管理者や職員は、家族との信頼構築に努め忌憚なく意見が出せるよう雰囲気作りしホームに足を運んでもらえるよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	必要時は職員会議の際に運営や労務に関する説明を行っている。また、各棟のリーダーが職員からの意見・提案を管理者に伝え、それを幹部へ相談している。	毎月の職員会議やケアカンファレンスなどはリーダー職が中心になり、職員の意見や提案をまとめ代表者や管理者などと意見交換し、出された意見を運営に反映させている。職員とは歓送迎会、新年会、ミニ花火大会などを企画し親睦を深めている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は年2回全職員の目標管理面談の結果を把握している。実績、技術評価、資格取得等が給与・賞与に反映される査定基準が示されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内・事業所内で各種の勉強会が企画され、出席が奨励されている。法人外研修の機会が用意され、一部は法人の費用負担もある。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同じ地区のグループホームや他サービス事業所との連絡会があり、交流・研修の機会には概ね参加し、情報共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>安心できる信頼関係を築けるよう声かけし、チームで情報共有している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族との連絡を密に行い、要望などは出来る範囲で受け入れている。また、こちらからも要望を伝えたりしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族との会話などから判断し、状況にあった支援を行っている。また美容室、介護タクシーなど他のサービスを利用できる仕組みも用意している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>互いに顔の見える環境で、それぞれに掃除、洗濯、調理補助などの役割を持ってもらい、よい関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外出、外泊やイベントの参加をお願いしたり、状態報告をしたりする。そのなかで家族の意見を取り入れている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	住んでいた地域とは違って来る場合もあるが、日々の会話でそのような関係があったかなどの把握に努め、支援につなげている。	友人や教え子などが面会に来られたり、行きつけの飲食店に家族と外出される方がおられる。職員は、家族などの絆が途切れることがないように、年賀状のやり取りや電話の取次ぎなど支援に努めている。地元の方も多く、日常的に面会がある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	けんかやもめ事等どうしても出てくるが、職員が会話などで介入し、それぞれの立場を理解して尊重できるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	看取りなどのあとで家族が来所されたり、他の施設へ移っても、様子を家族の方から聞けることもある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	環境的に時には難しい要望もある。すべての要求を実現は出来ていないが、思いに応えようと努力している。	本人の思いに寄り添えるよう言語だけでなく、表情や何気ないしぐさなどを読み取り、家族に確認しながら情報を共有し、なるべく本人本位にケアするよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者に直接尋ねたり、家族に聞いたりして、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	目が届かない場所でも行動を予測して見守ったり、居室で過ごす方々には適時声かけして様子を観察することで、心身の状態把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月に1回モニタリングを行い、年に一回以上本人、家族、担当職員、計画作成担当を交えた担当者会議を行って介護計画に反映させている。	各ユニットの職員が、定期的にケアカンファレンスを行い、3ヶ月ごとにモニタリングを実施し見直しにも柔軟に取り組んでいる。遠方の家族には電話で計画の説明を行い、帰省時に一緒に話し合い、介護計画書は、本人や家族の意向を反映した本人の望む暮らしに向けた目標設定になっている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランに基づいた個人記録を行い、職員全員がプランを意識した情報を記録している。また、必要に応じて介護計画を変更している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>リハビリや口腔衛生など、他の業種との連携を図っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>散髪、買い物、保育園との交流や秋祭りなど地域の方との交流も積極的に行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月2回の訪問診療、年1回の定期検診、メールで主治医との情報共有を行うなど、適切な支援体制を整えている。</p>	<p>母体医療機関との協力関係があり、昼夜、また、緊急を問わず24時間医療との連携が図れている。夜間帯は、母体医療機関から当直医が訪問する体制が構築されており、精神科医が訪問診療にて診察をしたり、訪問看護や薬剤師との連携などあり適切な医療が受けられている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週に1回訪問看護師が来所し、利用者はバイタルチェックを受ける。職員は報告、相談をすることができ助言を受けられている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	チームの一員として医療関係者と接し、意見交換、状況把握に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	医療と相談しながら、本人や家族が望む支援を行っている。また、看取った後も医療とカンファを行い、改善点を話し合うなどそれぞれの立場で、意見交換している。	契約時に重度化や終末期への対応の指針について説明し、意思確認書にて同意を取っている。重度化した場合は段階に応じて、主治医や家族、関係機関と十分に話し合いながらケアの方向性について検討し、意見交換している。看取りの実績もあり、職員や関係機関と振り返りの機会を設けている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	マニュアルを用意して緊急時に備えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災や自然災害に対しては、地域の方とともに避難訓練を行うなどし、緊急時に対処できるよう近所の方との関係作りに努めている。</p>	<p>各ユニットごと自主訓練を実施、年1回は合同で炊き出し訓練もしている。火災や地震による夜間想定避難訓練の実施では、地域の方が消火訓練に熱心に取り組まれたり、協力関係を確認するなど関係性を深めている。備蓄は、水や缶詰、レトルト食品などユニットごとに保管し、炊き出し訓練時に消費している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ユマニチュードの勉強会を行ってその基本の考え方にもとづき、それぞれの立場に立った声かけを心がけ、実践へつなげている。	職員は、年1回全ユニット合同にて、権利擁護やプライバシーについての勉強会を実施している。トイレ扉の内側にレースのカーテンを吊るしプライバシーに配慮して見守りをしながら排泄の自立支援を行っているユニットもある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の何気ない会話から本人の希望を聞きとり、実現できるようケアを行っている。入浴拒否など、納得されない場合は本人の意思を尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーションを行うなど、きっかけとしてはこちらの都合だが、それぞれのペース（ADL）を考え、本人に合わせている。		
39		その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に合わせた着衣を提案し、時に指摘したり、認知症であってもその人らしさを考えて支援している。		
40	15	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	可能な方には、配膳などの準備をお願いし、片付けや、清掃などまでしていただいている。	菜園があり利用者と収穫をしたり、旬の野菜を料理に取り入れたり各ユニットごとに献立を工夫して、毎日の食事を楽しんでいる。能力に応じてお手伝いをもらい、誕生日のリクエストメニューの他、行事食も工夫を凝らし季節感が感じられるよう取り組んでいる。職員は、利用者と一緒にお買い物に出かけたり、家族と一緒に外食が楽しめるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	キザミやトロミを適切に使い分け、分量や栄養バランスだけでなく、盛り付け、配色にも気を配って支援を行っている。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声かけや観察だけにとどまらず、歯科医師、衛生士などと連携し、指導を受けて口腔衛生を保つ努力をしている。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	様子観察し、それぞれのタイミングに合わせたトイレ誘導、パット、おむつ交換を行っている。また、なるべくトイレ排泄ができるよう、オムツ、リハビリパンツの着用を随時検討している。	排泄チェック表を活用し、排泄のリズムを把握したり、便秘予防のため炊飯時に寒天を混ぜ食物繊維を多く摂り、水分補給などしてこまめに身体を動かすよう促している。また、なるべくおむつなどへの排泄が減らせるようタイミングを図り声かけや誘導してトイレで排泄ができるよう努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取や野菜などの食物繊維の摂取を促し、運動なども積極的に勧めている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日や時間は決まっているが、その時々状況や、その人の気分などに合わせて柔軟に変更を行っている。	本人の希望や必要性に応じてその都度入浴していただいているが、なるべく浴槽に入りゆっくりと入浴を楽しんでいただけるよう配慮している。入浴のない日は、夜間、足浴してリラックスした気分になり心地良い眠りにつけるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	気温や照明などに気を配り、安心して眠れるよう声かけを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬に変更があればその都度資料を確認し、時に薬剤師に確認などを行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	イベントなどの参加を促したり、役割を持ってもらったりしている。また、日々の生活の中でも散歩やレクリエーション等好きなことを出来るよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その人のADLに合わせ、安全に外出できるよう、家族やボランティアの方に協力してもらっている。日々の中でも散歩や買い物などの簡易な外出は支援している。	天候や体調を伺いながら、周辺の散歩を楽しんだり、職員と回覧版を届けたり、毎週息子さんのお迎えがあり外泊される方、誕生日に家族と外食を楽しまれる方がおられる。職員は、年間行事計画にて初詣、季節ごとの花見見物など実施しているが、一人ひとりの思いや希望には十分に配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物に出たときには、可能な方には、本人に直接支払いをしてもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>手紙を書くことはないものの、会話可能の方には、電話で家族などと連絡が取れるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>花などを飾り、季節感を出したりしている。整理整頓、清掃を行い、清潔を保っている。遮光する、空気の入換えを行う、など、光、気温、湿度、匂いなどには気を配っている。</p>	<p>各ユニットごとに共有スペースの展示物や装飾品が季節感を与えてくれる。それぞれのユニットに個性的な雰囲気があり、室内は整然と片付き掃除が行き届いている。建物は、南向きで庭の季節の花々や人が行き交う様子が見て取れる。庭では日光浴をしながら季節の花々を觀賞される利用者や庭掃除をしている職員の様子があり、落ち着いた家庭的な雰囲気の共用空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>各居室の用意と、共用スペースにはソファの配置、テーブルの席もそれぞれの性格、相性を考え工夫をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた寝具、写真などのなじみのものを持ち込んでもらい、安心していただけるような空間作りを行っている。</p>	<p>畳部屋とフローリングの居室があり、馴染みの物を持ち込み居心地よく過ごせるよう工夫がされている。また、備え付けの洗面台がある部屋もある。手すりを設置するなどして移動の安全性を確保するなど利用者の身体機能を考慮した住環境である。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>張り紙などを使い、大きな文字でわかりやすく案内するなどしている。また、目の不自由な方には声かけを行い、どこに何があるのか支援している。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない